

「次期学習指導要領等に向けたこれまでの審議のまとめ」への意見
【「⑨（第2部 2.（2）社会、地理歴史、公民）」に対する意見】

一般社団法人生命保険協会¹
（住所：東京都千代田区丸の内3-4-1）
（電話：03-3286-2693（担当：奥村））

高等学校の公民科に共通必修科目「公共（仮称）」を設置し、本科目において以下の教育内容の改善・充実を図る方向性について賛同する。

- ・「現実社会の諸課題を、政治的主体、経済的主体、法的主体、様々な情報の発信・受信主体として自ら見いだすとともに、話し合いなども行い考察、構想する学習を行う」題材として、「社会保障」や「金融の働き」について取扱うことが適当である。また、「自助・共助・公助等による社会的基盤の強化」の意義について考えさせることが求められる。
- ・「持続可能な地域、国家・社会、国際社会づくりに向けた役割を担う主体となることについて探求を行う」題材として、「受益と負担の均衡や世代間の調和がとれた社会保障」について取扱うことが適当である。

上記の方向性を踏まえ、「社会保障」を学ぶ際の具体的な学習内容として、以下の内容を次期学習指導要領等へ反映頂きたいと考える。

「社会保障」については、平成24年8月成立の社会保障制度改革推進法において、制度改革の基本的な考え方として「自助、共助及び公助が最も適切に組み合わせられるよう留意」と規定されており、少子高齢化の急速な進展や国・地方財政等の状況を踏まえ、公的保障・私的保障が各役割を果たし、互いが補完し合って国民の生活保障を支えていく体制を構築することが重要となる。

今回の学習指導要領の改訂では「2030年の社会の在り方を見据えながらその先も見通した初等中等教育の在り方を示すこととされているが、2030年以降も少子高齢化が進んでいくことが予想される中、社会保障の持続可能性を高めるために今まで以上に公私連携が必要となることを踏まえ、「公共（仮称）」において、「社会保障」について学ぶ際には、自助努力で将来に備えることの重要性および保険の役割についても併せて学べるようにご検討頂きたい。また、発展的に学習する選択履修科目である「政治・経済（仮称）」や高等学校公民科で育成する資質・能力の基礎を育成する中学校社会科の公民的分野においても、同様の取扱いとして頂きたい。

また、教育環境の充実のための条件整備として「教科の内容に関係する専門家や関係諸機関等と円滑な連携・協働を図り、社会との関わりを意識した課題を追究したり解決したりする活動を充実させること」等が取り上げられているが、生命保険業界等が提供する外部の教材や講師派遣についても適宜ご活用頂きたい。

以上

¹ 我が国で生命保険事業を行う全生命保険会社（平成28年9月末時点で41社）が加盟する一般社団法人であり、生命保険事業の健全な発達および信頼性の維持を図り、もって国民生活の向上に寄与することを目的とした事業を行っている。本年4月15日、学校教育現場での保険教育機会の拡充に向けた提言をとりまとめた「保険教育推進に関する報告書」を公表した（<http://www.seiho.or.jp/activity/literacy/report/pdf/report.pdf>）。

ご参考

意見書で申し上げた「社会保障制度について学ぶ際に、自助努力で将来に備えることの重要性および保険の役割についても併せて学ぶこと」については、「審議のまとめ」において整理された高等学校公民科「公共（仮称）」・中学校社会科の公民的分野における育成すべき資質・能力の一覧表（下表）において、「⇒」の部分のとおり整理することができるのでご参考にして頂きたい。

三つの柱	生きて働く「知識・技能」の習得 (何を理解しているか、何ができるか)	未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成 (理解していること・できることをどう使うか)	学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性等」の涵養 (どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか)
<p style="text-align: center;">高等学校 公民科 「公共（仮称）」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○現代社会の諸課題を捉え考察し、国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の手掛かりとなる概念的な枠組みの理解 ⇒<u>少子高齢化に関する知識</u> ○倫理的、法的、政治的、経済的主体等に関する理解 ⇒<u>社会保障制度に関する知識</u> ⇒<u>保険に関する知識（保険の役割、仕組み、種類等）</u> ○諸資料から、倫理的、法的、政治的、経済的主体等となるために必要な情報を効果的に収集する・読み取る・まとめる技能 	<ul style="list-style-type: none"> ○選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、現代の社会的現象や現実社会の諸課題の解決に向けて事実を基に多面的・多角的に考察したり、構想したりする力 ⇒<u>自助努力で将来に備える力</u> ⇒<u>社会保障制度における自身の負担と給付内容を把握する力</u> ⇒<u>将来リスクを想定する力</u> ○合意形成や社会参画を視野に入れながら、社会的現象や課題について構想したことを、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして論拠を基に議論する力 	<ul style="list-style-type: none"> ○社会の在り方や人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に調べ分かつて課題を意欲的に追究する態度 ○よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を見出し、その解決に向けて他者と協働して意欲的に考察・構想し、論拠を基に説明・議論することを通して、社会に参画しようとする態度 ⇒<u>社会保障制度の持続可能性を高めるための解決策（今まで以上に公的保障と私的保障の連携を進めていくこと）を模索する態度</u> ○多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚、自国を愛しその平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し各国民が協力し合うことの大切さについての自覚等
<p style="text-align: center;">中学校 社会科 公民的分野</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○現代社会を捉える概念的枠組みの理解 ⇒<u>少子高齢化に関する知識</u> ○現代社会の政治、経済、国際関係に関する理解（現代社会と文化、現代社会の見方・考え方、市場の働きと経済、国民の生活と政府の役割、人間の尊重と日本国憲法の基本的原則、世界平和と人類の福祉の増大） ⇒<u>社会保障制度に関する知識</u> ⇒<u>保険に関する知識（保険の役割、仕組み、種類等）</u> ○統計や新聞などの諸資料から、現代の社会的現象に関する情報を効果的に収集する・読み取る・まとめる技能 	<ul style="list-style-type: none"> ○社会的現象の意味や意義、特色や相互の関連を現代の社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり、現代の諸課題について公正に判断したりする力 ⇒<u>自助努力で将来に備える力</u> ⇒<u>社会保障制度における自身の負担と給付内容を把握する力</u> ⇒<u>将来リスクを想定する力</u> ○他者の主張を踏まえたり取り入れたりして思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力 	<ul style="list-style-type: none"> ○現代の社会的現象について主体的に調べ分かつて課題を意欲的に追究する態度（社会生活における物事の決定の仕方、現実の政治、個人、企業及び国や地方公共団体の経済活動、現実の国際関係） ○現代社会に見られる課題の解決を視野に社会に関わろうとする態度（他者と協働して考え、社会に参画しようとする） ⇒<u>社会保障制度の持続可能性を高めるための解決策（今まで以上に公的保障と私的保障の連携を進めていくこと）を模索する態度</u> ○多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される自覚や愛情等（自国を愛しその平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し各国民が協力し合うことの大切さについての自覚）